

ロボット手術および腹腔鏡下胃切除術に対する蛍光クリップ 73 例の検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

当院では、胃がん手術において、病変の位置を正確に確認することが重要です。現在、内視鏡検査やマーキングなど様々な方法が用いられていますが、それぞれに課題があります。

本研究では、内視鏡検査時に留置した「蛍光クリップ」という特殊なクリップを用いて、手術中に病変の位置を確認する方法について、その有用性や適切な使用条件を検討します。

これまでの診療で得られた情報（診療録、内視鏡画像、手術記録、病理結果など）を用いて行う観察研究であり、新たに検査や治療をお願いするものではありません。

研究の対象となる方

2020年10月から2026年2月までの間に、当院で胃がんに対して腹腔鏡手術またはロボット支援手術を受けられ、手術前に蛍光クリップが留置された方

使用する試料・情報

年齢、性別などの基本情報、内視鏡検査所見および画像、CT検査等の画像情報

手術方法および手術記録、蛍光クリップの留置部位に関する情報、病理検査結果（胃壁の厚さなど）

使用開始予定日：研究実施許可日

研究予定期間

2026年6月4日～2027年3月31日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

〔研究の情報管理責任者〕 総合腫瘍科 田中秀幸

〔当院の個人情報管理責任者〕 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 総合腫瘍科 田中秀幸

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)